

令和2年度 入札監視委員会（第4回）議事概要

南関東防衛局

開催日及び場所	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入札監視委員会定例会議を回議方式で実施 回議実施期間：令和3年3月1日（月）～令和3年3月19日（金）	
委員 (◎：委員長)	天野 康代（弁護士） 後藤 由紀子（公認会計士） ◎細田 孝一（大学教授）	梅村 靖弘（大学教授） 田才 晃（大学院教授） (敬称略：五十音順)
審議対象期間	令和2年10月1日～令和2年12月31日	
審議対象件数	50件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出案件	総件数	6件
建設工事	一般競争（政府調達協定対象）	0件
	一般競争（政府調達協定対象外）	3件
	企画競争方式	0件
	随意契約方式	1件
	建設コンサルタント業務等	2件
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	① 武山（2） 宿舍改修電気工事 （一般競争入札方式（政府調達協定対象外）） 特殊な技術等は必要ない業務であるが、1者応札となったのは何故か。	参加しなかった業者からのヒアリングにおいて、「技術者が不足しているため、配置予定技術者を確保できず、参加できなかった。」との理由であった。

<p>② 厚木飛行場周辺地区（２）緑地帯撫育管理等工事（その５） （一般競争入札方式(政府調達協定対象外)）</p> <p>③ 浜松飛行場周辺地区（２）緑地帯撫育管理等工事（その３） （一般競争入札方式(政府調達協定対象外)）</p> <p>予定価格はどのように決めたのか。</p> <p>この種の工事は落札価格が低い傾向があるが、その理由如何。</p> <p>３者の入札価格が低く、落札率も低いが、予定価格では、どのような費目が多く見積もられていたのか。</p> <p>従前も同じ内容の入札があれば、その落札業者はどこか。</p>	<p>予定価格は、当省制定の「土木工事積算価格算定要領」及び「南関東防衛局管内建設資材価格等調査」に基づき算定している。</p> <p>落札業者の諸経費が当局に比べて低く抑えられていることが要因であると考えられる。</p> <p>主に樹木の伐採及び剪定等を計上しているが、本項目には、運搬・処分等が含まれ、これに諸経費を加算計上している。</p> <p>なお、最も多く見積もられている項目は、伐採（各サイズ毎）、剪定、竹伐採及び諸経費のうち、伐採となっている。</p> <p>厚木飛行場周辺地区（２）緑地帯撫育管理等工事（その１）～（その４）は(株)志村緑地が落札し、浜松飛行場周辺地区（２）緑地帯撫育管理等工事（その１）は浜松造園事業協同組合が、浜松飛行場周辺地区（２）緑地帯撫育管理等工事（その２）は(有)荻造園工事が落札している。</p>
<p>④ 横須賀（２）災害復旧工事 （随意契約方式）</p> <p>[競争参加資格の確認]に「選定条件に合致する１者を選定し、見積依頼を行った。」とあるが、ユタカ建設（株）を選定した方法・理由は何か。</p>	<p>記録的な集中豪雨により崖が崩落するなどの被害が発生し、２次被害のおそれがあることから、被災施設の一日も早い復旧を目指し、早期かつ確実な施工が可能な者を短期間で選定する必要があったことが理由である。</p> <p>選定条件としては土木工事一式工事の格付がAの企業のうち、被災基</p>

<p>見積合わせにおいて予定価格を下回っている場合、費目や金額について精査のうえ減額の交渉をしないのか。</p> <p>本件の見積合わせが1回だったのは、災害復旧工事という緊急性からか。</p>	<p>地が所在する横須賀市に本支店等を置く企業であり、当局で土木工事一式工事及び法面工事を実施した実績のあるユタカ建設（株）1者のみが選定条件に合致した。</p> <p>本件工事の予定価格の算出の参考となる積算内訳明細書は、要領等のほか専門業者3者による見積により算出しており、予定価格が妥当な金額であると考えていることから、会計法第29条の6を類推適用し、更なる交渉等は行っていない。</p> <p>1回目の見積合わせにおいて予定価格を下回ったことから、契約に至ったもの。</p>
<p>⑤ 厚木米軍（2）汚水排水（731）基本検討（一般競争入札方式(政府調達協定対象外)）</p> <p>予定価格は、A者からの見積りにより算定したのか。</p> <p>入札者は1者のみであるが、落札者の技術評価点の点数は高いとはいえず、品質について確認を行ったのか。</p>	<p>予定価格の算出の参考となる積算内訳明細書は、A者を含む3者から見積を徴取し算定した。</p> <p>入札資格審査において、業務の履行実績や配置予定技術者の資格・経験を確認しており、当局において、同種の業務を受注した実績があること及び当省で受注した多数の業務の成績において100点満点のうち80点前後の評価を得ていることから品質の確保は可能と考えている。</p>
<p>⑥ 横須賀外（2）設備工事監理業務（一般競争入札方式(政府調達協定対象外)）</p> <p>予定価格はどのように決めたのか。</p> <p>入札者2者は、同額で入札している</p>	<p>予定価格の算出の参考となる積算内訳明細書は、当省制定の「建設工事に係る事業監理業務積算要領」により積算しており、予定価格は仕様書に規定した巡回日数等に公表されている労務単価及び経費率を乗じて算出し、契約担当官が定めている。</p> <p>「企業の実績及び能力」及び「配</p>

	るため技術評価点により落札者を決定しています。技術評価点の「企業の実績及び能力」、「予定技術者の経験及び能力」に大きな差があるが、何故か。	置予定技術者の経験及び能力」は、標準評価基準において同種又は類似業務、業務成績及び優秀業務等の結果を評価しており、当該評価項目において差が生じた。
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特に意見なし。	
2. 談合疑義案件の処理状況について		
談合疑義案件	総件数	0件
工 事	談合情報	0件
	点検結果疑義	0件
業 務	談合情報	0件
	点検結果疑義	0件
○委員からの意見・質問	意見・質問	回 答
○それに対する回答等	なし。	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし。	
3. 入札結果の事後的・統計的分析結果について		
審議概要	順位傾向の分析、落札率・応札率の分析、調査項目別の平均落札率等の分析等を行った資料を委員に配布・報告。	
○委員からの意見・質問	意見・質問	回 答
○それに対する回答等	なし。	
4. 再苦情処理（再説明請求回答）		
・該当案件なし		

令和2年度 入札監視委員会（第4回）議事概要

航空自衛隊

開催日及び場所	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入札監視委員会定例会議を回議方式で実施 回議実施期間：令和3年3月1日（月）～令和3年3月19日（金）	
委員 （◎：委員長）	天野 康代（弁護士） ○梅村 靖弘（大学教授） 後藤 由紀子（公認会計士） 田才 晃（大学院教授） ◎細田 孝一（大学教授） （敬称略：五十音順）	
審議対象期間	平成30年4月1日 ～ 令和2年3月31日	
審議対象件数	5,049件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出案件	総件数 7件	（審議概要） ・ 契約状況について報告 ・ 抽出案件の概要説明
一般競争	6件	
指名競争	0件	
随意契約	1件	
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意見・質問 ① 基地内吸収冷凍機等保守 点検（役務） （一般競争入札方式（複数 応札） 落札事業者の価格が極端に 低い要因は何か。他者では対 応不可能な価格であるのか。 市場価格比較一覧表におい て、化学洗剤の項目が随所 に見られる。この単価が落札 業者のみ他2者に比べ、凡そ 数十分の1の価格になってい	回 答 落札者から聴取したところ、基地 内に複数点在している吸収冷凍機 等を集中して短期間にて点検する ことにより、作業工数及び諸経費 （移動工数や旅費等）を削減してい るということである。特に、作業工 数を削減できる主因は、過去浜松基 地における同種役務の実績や他箇 所において同様の機材の点検を実 施した実績があることによるもの であり、他者においても対応不可 能な価格とは言えないと考える。 市場価格比較一覧表の10177 化学洗剤を例にすると10リッ トルあたり6,000円であり、1 リットルあたり600円となり、1 回の使用量35リットルを乗じて

るが、これは何を意味するのか。

落札率は約49%と、低いが、低落札価格調査は行われているのか。また、落札者はどのような費用を削減しているのか。

入札日時を前倒しにした理由は何か。

「作業工数及び諸経費（移動工数や旅費等）を削減しているということであるが、特に、作業工数を削減できる主因は、過去浜松基地における同種役務の実績や他箇所において同様の機材の点検を実施した実績があることである。そのため、他社では対応不可能な価格までとは言えないと考える。」との回答だが、今回、落札したA者の落札金額は、予定価格の直接業務費より低金額となっており、業務管理と一般管理費用は考慮してい

おらず記載誤となっている。再度、A者の市場価格を項目毎に使用量に乗じて計算し比較したところ、日本空調サービスが最も安価なため、予定価格の算出に影響はないものとする。なお、本件は、市場価格調査の際、わかりにくい単位と備考の記載が原因で業者間に誤解が生じたものと考えられるが、令和2年度には既に単位を1リットルから1回当たりに改善している。

調査は実施している。落札者から聴取したところ、基地内に複数点在している吸収冷凍機等を集中して短期間にて点検することにより、作業工数及び諸経費（移動工数や旅費等）を削減しているという回答を得ている。特に、作業工数を削減できる主因は、過去浜松基地における同種役務の実績や他箇所において同様の機材の点検を実施した実績があることと聞いている。

調達要求部署から、冷房を使用するために必要な保守点検を早期に開始されなければ、勤務環境の悪化及び隊員の健康被害を招くという意見を受け、入札日時を前倒すことが妥当であると判断するに至った。

当該価格で入札できた理由として、基地内に複数点在している吸収冷凍機点検を同一契約で履行することにより、基数によらない諸経費が按分されることで1箇所当たりの費用を抑えることができ、また、旅費や移動工数等の経費を見直すことで、より費用抑え、当該入札価格を算定した。さらに、前年度も浜松基地における吸収冷凍機の点検を実施しているため、初期の確認投資を大幅に軽減できるとの低落札調査の回答を得ている。また、作業員の確保計画も問題なく、信用状況については、過去の官公庁との契約

<p>ないことになっている。また、予定価格の内訳をみると直接業務費における市価調査では、落札したコニックス、日本空調サービス（日本空調東海の親会社）、日管の価格を比較しており、殆ど日本空調サービスの価格を採用している。今回、落札できなかった2者の入札金額は、ほぼ同等であり、適切な金額といえるのではないか。過去に浜松基地における同種役務の実績や他箇所において同様の機材の点検を実施した実績があるとしても、管理費用を見ていないことは、工事を適正に実施できるものか疑わしいと考えるが如何。低落札調査の結果はどうであったのか。</p>	<p>実績からは特に問題点は認められず、経営内容についても、貸借対照表により、特に問題は認められない。以上のことから、適正に契約を履行することができるものと判断するに至った。</p>
<p>② 浜松広報館屋外展示機 (F-86) 塗装作業(役務) (随意契約(複数見積合わせ))</p> <p>予定価格が落札業者の見積書と同額であるが、どの様な経緯で同額となったのか。</p>	<p>予定価格の算出根拠を市場価格調査で行っており、本件について3者から取得しており、最も安価な市場価格を予定価格として採用している。今回、予定価格として採用した業者が落札業者であり、同額となった。</p>

<p>③ 圧力容器性能点検及び保守整備（役務） （一般競争入札方式（一者応札））</p> <p>予定価格調査に当たり、A者から調査価格を入手しているようですが、A者に決めた理由、および複数者から調査価格を取らなかった理由は何か。</p> <p>落札率は約49%と低いが、落札者はどのような費用を削減しているのか。</p> <p>予定価格の算出根拠となっているA者の調査価格の細部はどうなっているのか。</p>	<p>B者にも調査価格の依頼をしたが、入札には参加しないため、調査価格の依頼にも応じられないとの回答を得た。</p> <p>創業当初より、ボイラー、付属機器、装置などの販売、据付の実績を積み上げてきたことから、技術サービス面における経費を削減できている。また、会社所在地が静浜基地から約50kmと近隣に位置していることから、通信交通費の削減により経費削減が可能となっている。</p> <p>A者の調査価格は下記のとおり （1 基あたり一般管理費等の諸経費を除いた金額） 【性能検査に伴う保守整備（貯湯タンク清掃整備）】 ・第1種圧力容器（内容積2.0m³以下）→ ¥250,000 ・第1種圧力容器（内容積2.0m³以下）→ ¥280,000 【性能検査に伴う保守整備（熱交換器清掃整備）】 ・第1種圧力容器（内容積0.15m³以下）→ ¥200,000 【貯湯槽加熱コイル交換】 ・医務室加熱コイル交換 → ¥500,000</p>
<p>④ 空調機保守点検整備（役務）（一般競争入札方式（複数応札））</p> <p>特に質問事項なし</p>	

<p>⑤ エアフェスタ浜松2018における臨時駐車場管理及び誘導警備業務（役務） （一般競争入札方式（一者応札））</p> <p>このイベントは毎年開催されていると思料するが、A者は都度変更があるのか。過去3年分について問う。</p> <p>A者が入札に参加しない、または落札できないのには何か特別な理由があるのか。</p>	<p>毎年、一般競争入札を実施し、過去3年間A者が落札している。</p> <p>他の会社に入札参加の声掛けをしているが、多忙であり、人員の確保ができないため入札参加できないとの回答を得ている。</p>
<p>⑥ エアフェスタ浜松2018における保安検査業務（役務） （一般競争入札方式（一者応札））</p> <p>このイベントは毎年開催されていると思料するが、保安検査を行う会社は都度変更があるのか。過去3年分について問う。</p> <p>落札者は予定価格調査では8,309,600円（税抜き）と見積もっていたが、約25%低い6,270,000円（税抜き）で落札している。落札価格が下がったのはどのような理由によるものか。</p> <p>A者以外の会社が入札に参加しない、または落札できないのには何か特別な理由があるのか。</p>	<p>毎年、一般競争入札を実施し、過去3年間A者が落札している。</p> <p>会社は、当初例年ベースに基づき市場価格を見積もっていたが、当日の警備員を配置するにあたり、警備関連の協力業者を探していく過程において、予想よりも価格が下がり、入札価格を抑えることが可能となった。</p> <p>他の会社に入札参加の声掛けをしているが、多忙であり、人員の確保ができないため入札参加できないとの回答を得ている。</p>

	⑦ 浜松飛行場剥離塗装 (工事) (一般競争入札方式(複数 応札)) 特に質問事項なし			
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	特に意見なし。			
2. 談合疑義案件の処理状況について				
談合情報件数	総件数	0件	(審議概要) ・該当案件なし。	
談合情報		0件		
点検結果疑義		0件		
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意見・質問		回 答	
	なし。			
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし。			
3. 再苦情処理(再説明請求回答)				
再苦情申立件数 (再説明請求件数)	総件数	0件	(備考)	
一般競争				
指名競争 随意契約				
再苦情申立概要 (再説明請求概要)	申立日	件 名	契約方式	内容等
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意見・質問		回 答	
	なし。			
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし。			

令和2年度入札監視委員会（第4回）議事概要

防衛装備庁陸上装備研究所

開催日及び場所	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入札監視委員会定例会議を回議方式で実施 回議実施期間：令和3年2月26日（金）～令和3年3月19日（金）	
委員 （◎：委員長）	天 野 康 代（弁護士） 梅 村 靖 弘（大学教授） 後 藤 由 紀 子（公認会計士） 田 才 晃（大学院教授） ◎ 細 田 孝 一（大学教授） （敬称略：五十音順）	
審議対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
審議対象件数	466件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	4 件	（審議概要） 1 契約状況の説明 2 抽出事案の概要説明 3 抽出事案の審議
一般競争	3 件	
指名競争	0 件	
随意契約	1 件	
	意見・質問	回 答
○意見からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	<p>① 3次元流体構造数値計算に係る支援作業 一般競争入札（一者応札）</p> <ul style="list-style-type: none"> 入札参加者は1者のみであるが、この作業を行える事業者は他に存在しているのか。 このような特殊な役務（数値解析プログラムの開発）に関する積算はどのような基準に基づいているのか。 入札者の技術的評価はどのようにしているのか。具体的には、落札したアドバンスソフト（株）の能力をどのように評価し 	<ul style="list-style-type: none"> 本件役務は、計算技術を有する業者であれば一般的に対応可能である。 契約可能相手方から取得した参考見積書を基に、担当者から作業支援内容等（労務費）について説明を受け、予定価格を積算したものである。 資格審査結果通知書（全省庁統一資格）の役務提供等の内容及び仕様書等の内容を1カ月間公告し、役務の内容等を理解したうえで入札していることから技術的な評価は十分担保されていると認識して

<p>たのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 能力評価としての基準である仕様書の1. 4項の附随書1, 2の内容は何か。 	<p>いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 付属書1は、プログラムの仕様を規定しており、極超音速以下での流体構造数値計算における剛体周辺の3次元流体構造数値解析において使用するプログラムの構造、使用する言語やコンパイラ、構造格子形状や境界条件等について記載している。 また、付属書2は、本支援作業におけるプログラムの検証方法について規定しており、単純な想定での計算による誤差の評価及び公開論文にある条件で計算検証する際の誤差の評価について記載している。
<p>②電気の供給 一般競争入札（複数応札）</p> <ul style="list-style-type: none"> 予定価格は具体的にどのように決めたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 入札参加業者から参考見積書の提出を得られなかったため陸上装備研究所を管内に持つ一般電気事業者であるA社の基本料金単価及び電力料金単価を用いて予定価格を積算したところである。
<p>③海外船舶輸送 一般競争入札（複数応札）</p> <ul style="list-style-type: none"> 札を入れた3社とも予定価格を大幅に下回っているが、予定価格はどのように算出したのか。 低入でも問題ないと確認でき、札を入れた他の2社も予定価格の4～5割程度の入札額であることを踏まえると、予定価格の設定に課題はないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 予定価格の積算に当たっては参考見積書を取得できた2者（E社、税抜価格F円・G社、税抜価格H円）から説明を受け、内容を確認し、より安価であったE社の参考見積書に基づき積算したところである。 入札金額は、船舶の運航状況等及び日本・米国での陸送費用並びに輸送全てに係る役務費用について、契約可能相手方と下請業者との価格交渉により決まることから、契約可能相手方は、入札日前日までより安価で履行できる下請業者の再選定又は価格交渉を行うものである。本件の入札においては、結果として3社とも予定価格に比べはるかに低い金額で応札していることからご指摘を踏まえ、今後の予定価格の積算においては、今回の契約実績等を含め、他研究所等の状況を確認しつつ、より適正な積算に努める。

	<p>④脅威威力取得に係る射撃試験役務 随意契約【公募・企画競争時1者応募】</p> <ul style="list-style-type: none"> 同種の契約案件の契約相手方いつも三菱長崎機工（株）なのか。 当初から1者に対してのみ見積を依頼していたのか。それとも結果的に1者のみであったのか。 予定価格の内訳はどのようなになっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度にも「弾性能評価に係る射撃試験役務」を実施し、契約相手方は三菱長崎機工（株）である。 各種脅威を標的に射撃し、着速-存速関係、V50、脅威侵徹長を取得する役務内容であり、本件の実施に際しては、射撃に必要な各種脅威を準備・射撃可能であり、これを用いた脅威威力取得に係る射撃試験の企画及び実施に必要な技術・知識を有している者でなければ履行は不可能である。本件を履行できる者は、1者しかいないものと思われるものの、他にいる場合がないとは言い切れないことから1カ月間公示を行い、1者しか履行できないことを確認したうえで契約希望参加業者から履行体制を含む関係書類等の提出を受け、官側において審査を行い、合格になったことから、契約希望参加業者に対して合格通知を発出したうえで参考見積書を取得したところである。 予定価格の積算要領 応募相手方である三菱長崎機工（株）から参考見積書の提出を受け、担当者から作業内容の説明を受けるとともに、参考見積書の内容について要求元担当者に確認し、積算を行った。 予定価格の内訳 材料費（射撃試験役務で使用する試験板、12.7mmM2弾丸及び標的架台の費用）、外注費（試験役務費用）及び直接経費（射撃試験立会及び提出書類作成等の作業費、旅費等並びに器材輸送費及び諸経費）の3つの経費から構成されており、それぞれの経費について契約相手方からエビデンス等の書類の提出を受け、その内容を確認した。
<p>委員会による意見具申又は勧告の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> 特に意見なし 	

2 談合情報案件の処理状況について				
談合情報件数	0 件		(審議概要) ・該当案件なし	
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意見・質問		回 答	
	・なし		・なし	
委員会による意見具申又は勧告の内容	意見なし。			
3 再苦情処理（再説明請求回答）				
再苦情申立件数 （再説明請求件数）	総件数 0 件		(備考) ・該当案件なし	
一般競争 （政府調達協定 対象外）	0 件			
指名競争	0 件			
随意契約	0 件			
再苦情申立概要 （再説明請求概要）	申立日	件 名	契約方式	内 容 等
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答	意見・質問		回 答	
	・なし		・なし	
委員会による意見具申又は勧告の内容	・なし			